
秘蜜事～いっそ逢わなければよかった…～

架羅馭璃 千佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

秘密事〜いつそ逢わなければよかった〜

【Nコード】

N9447Z

【作者名】

架羅 駆璃 千佳

【あらすじ】

お姫様がお城を抜け出し、ある内緒のお気に入りの場所で歌を歌う。

偶然そこに居合わせた鍛冶職人の男が歌を聴き入る。

男はお姫様だと知らずに美しい歌声の持ち主に近づく。

お姫様は自分がお姫様だということを男に隠す。

次第に2人は愛し合う。

しかし、王様はお姫様の様子が変わったと感じ、お姫様に監視役を付けた。

お姫様に監視役が付いたため、鍛冶職人の男のもとへ行けなくなってしまう。

ある日、監視役の兵の気が緩んだ隙に、お姫様はお城を出て愛しい彼と再開…したのはつかの間。

兵の気が緩んだのは王様が命じたため。そう。お姫様はまんまと王様の罠に繋がったのだ。

娘の様子がおかしい訳を知りたかった王様はやむを得ずこの手を使った。

鍛冶職人の男は今初めて自分が愛した女性がお姫様だと気付く。

お姫様と鍛冶職人は王様によって離れ離れになってしまった。

禁忌を犯した2人の間には深い溝が出来た。

鍛冶職人は国を追放され、お姫様はお城の外へ出られなくなってしまった。

お姫様と鍛冶職人はまた、巡り逢えるのだろうか。

#1 プロローグ

浜辺を歩きながら歌っている女性がいた。

女性と言っても17、8くらいだ。

《王族の私には外がどんなものか知らない

どんな人がいて

どんな会話をしているのかも

何も知らない

ただ私が知りうるものは

王族という生き物が醜みにくい生き物ということだけ

私は王族が嫌い

何故私が王族なのだろうか

王族の私には外にどんな世界が広がっているのか知らない

どんな文化があり

どんな政事まつりごとがあるのかも

何も知らない

ただ私が知りうるものは

王族は外と関わりをもととしない生き物ということだけ

私は王族が嫌い

何故私が王族なのだろうか

私は王族ではなく
平民に生まれたかった…

その願いは
はかなくも崩れ去った

今更せがんだところで
過去は変えられない

私が王族として生まれた瞬間
この願いは届かない

私は王族が嫌い
何故私が王族なのだろうか

その答えは
誰にも解りはしない》

とても透き通っている歌声。

誰もが聴き入る歌声。

#2 隠し通路 - 1

アルカバ帝国の中心部スヴィル帝都にそびえ立つのは我が国の帝王が住まわれている城がある。

高台にあるそれは、灰色の塀に囲まれ銀の門には槍を持った門番が2人。

城内に入るためにはその門を潜らなければならない。

しかし、たったひとりだけ門を潜らずに城内へ入れる者がいた。

「よしと」

城から何mと離れている裏路地にある小さなマンホール。

そこに勢いよく飛び込む1人の17、8くらいの女性がいた。

肋骨部分まで伸ばした蒼色の髪を金色の髪ゴムで結んである。

マンホールの蓋は小さいがその下の水路は大人ひとり通れるくらい
の大きさに掘られてある。

その中を女性は進んでいく。

何mが行った先には4つに枝分かれしている。

女性は躊躇ためらいなく左から2番目の道に進んで行く。

ひたすらに進んで行くと行き止まりとなり、上へ上がるしか道がな
くなった。

女性は上へ上がるための階段を上っていく。

どつやらの薄汚れた水路から地上へ出るらしい。

上に覆い被っていたマンホールの蓋をゆっくりと開けた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9447z/>

秘密事～いっそ逢わなければよかった...～

2011年12月29日16時52分発行